

＜写真 1＞窓面の壁の黄色と、クッションカバーのターコイズブルーをアクセントカラーに採用したリビングスペースは、明るさと爽やかさを感じさせる空間となっています。一方でオレンジ色をアクセントカラーに採用したリビングは、温もりや安心感などのイメージが強くなる為、寒さの厳しい地域などに向いているカラーリングと言えるでしょう。

＜写真 2＞壁の色は変更せず、カーテンや壁の絵、花瓶などを変えるだけでも、空間のイメージに変化を与えられます。特に玄関は家の顔となる部分なので、季節ごとに絵を交換したり、お花を飾ったりすることで、良い氣を家の中に取り込むことができるようになります。明るく、清潔に場を整え、良い香りのアロマなどを設置すると良いでしょう。

＜写真 3＞こちらの玄関も、飾る絵によってだいぶ印象が異なります。左の写真の玄関は、風景画の青色が爽やかななイメージを与え、シンプルですっきりとした開放的な玄関ホールとなっています。正面のニッチや右手のサイドボードに花を飾ると、空間の質をさらに高めることができるでしょう。右の写真のように、ビビットな色彩の花の絵を連続で飾ったり、正面ニッチの大きめなウォールグリーンなどは、リゾート感を演出し空間のエネルギーを高めてくれます。色彩・光・香りは、玄関にとって特に重要な要素と言えます。



Feng-Shui Gallery

special edition vol.95

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『色彩による空間イメージの比較 vol.2』

～家具やカーテン、小物の色彩によるアクセント～



風水住宅では、壁や天井の色彩にベージュやクリーム色などの暖色系を採用し、明るい温もりのある空間になるようにデザインしています。カーテンや家具の色彩は、アクセントになるようなビビットな色を選ぶことで、空間のイメージに大きな変化を与えることが可能です。